

暑い日が続きます。熱中症に注意しましょう！

和チーム託北

熊本市立託麻北小学校

令和3年6月25日

No. 12

文責：津田

5年生「水俣に学ぶ肥後っ子教室」をオンラインにて実施。学びを深めました！！

※6/24(木)の2～4 時間目、体育館で標記教室をオンラインにて実施しました。今回参加したのは、熊本市からは本校。他に八代市・山鹿市・宇城市・菊水町・和水町・南小国町等の小学校を含め、10校が参加しました。本教室は、熊本県下の全小学校5年生に実施されるものです。主な目的は、①産業の発達とそれに伴う公害、環境破壊、それに対する人々の取組について学びを深め、これからの自分たちの生き方・生活を考える機会とする。②語り部の方の話から、公害によって引き起こされた水俣病の苦しみだけでなく、差別や偏見の歴史やそれに立ち向かってきた生き様を知る。以上です。本来なら水俣市にある熊本県環境センター・国立水俣病情報センター・水俣市立水俣病資料館を実際に見学するのですが、コロナ禍のために今年度はオンラインによる学習を実施しています。今回の学習では、まず前半に、県環境センター指導員 坂本 彰 さんに「私たちの生活と水環境問題」と題し、地球環境問題やその原因、水環境の問題や今後の生活で気をつけていかねばならないこと等を様々なプレゼンを使って分かりやすく説明して頂きました。後半は、語り部で「水俣病を語り継ぐ会」会長の吉永 理巳子 さんにご自分の人生を語られる中で、水俣病との関わりや自分の「もやい直し」について子どもたちに優しくお話になりました。ご自分の経験を通し、子どもたちには「人の噂を簡単に信じるのではなく、自分自身の力で真実を確かめることができる人になって欲しい。」と強く訴えられました。人の噂や偏見を簡単に鵜呑みにし、人を平気で差別したり、傷つけたりする人間の悪しき歴史。水俣病患者やハンセン病元患者、そしてコロナ患者と悪しき歴史が繰り返されている現代。将来を担う子どもたちには、この負の循環を打ち消して欲しいと私も強く願っています。子どもたち一人一人は、真剣に話を聞き、精力的にメモを取っていました！！



【卒業アルバム用個人・集合写真撮影がありました！！】

☆6/24(木)に早くも卒業アルバム用個人・集合写真撮影がありました。「えっ？こんなに早く？」と思われるかも知れませんが、プロの写真屋さんの話によると、夏場の少し日焼けした頃の顔の方が、元気で生き生きとした写真が撮れるとのこと。昨日は、クラブ活動の活動風景の撮影が行われました。まだまだ1学期の最中ですが、6年生は、着実に「卒業」への道のりを歩んでいるのを改めて実感。

